

青森県 十和田市における6次産業化促進

2013年5月27日(月) 十和田市において6次産業化を推進するための独自スキームとして、グループワークを開催。今後は勉強会を継続して行います。

(2013年6月2日(日)デーリー東北 朝刊)

デーリー東北 H25 年6月2日(日)



十和田市が主催した勉強会で、6次産業化に向けてアイデアを出し合う参加者
115月27日、同市

生産—販売まで一貫6次産業化

十和田市推進に本腰

段階に応じ事業者支援

十和田市は2013一貫して手掛ける6次年度、農林水産業の生産業の推進に向け、産から加工、販売まで事業者の支援を強化す

る。勉強会や事業計画書作成の手伝いといった個々の取り組み段階に応じ、きめ細かく継続的にサポート。国から認定され、手厚い補助を受けられる事業者を増やす狙いだ。

戦略課は「遅れ気味の6次産業化を進め、農家の所得向上につなげたい」としている。

6次産業化の促進は小山田久市長の公約の一つ。13年度当初予算で、特別枠として1160万円を計上した。

国の11年に制定した「6次産業化法」では、事業計画の認定により商品開発や加工設備の設置などで補助を受けられる。同市は生産量日本一のニンニクを筆頭に農畜産業が盛んだが、国の認定を受けているのは農事組合法人の1件にとどまる。

このほど生産者14人を対象に市内で開かれた勉強会では、須田さんらが講演。ナガイモやニンニクを育てる農家の男性は「6次産業化には興味があったが、何をすれば良いか分からない。ノウハウを学べれば」と意気込んでいる。

一方、県内では5月末現在で46件が認定され、取り組みが拡大中だ。市とわだ産品販売

出する事業計画書の策定をサポート。認定後を見据えた経営についても助言する。

(岩淵修平)